

# 令和5年度 福岡高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

## ～持続可能な働き方を目指す福岡高校～

福岡高校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

### 1 現 状

#### 【定量的現状】

- (1) 令和4年度時間外在校等時間80時間以上の教職員0人
- (2) 令和4年度時間外在校等時間45時間以上の教職員延べ27人(5.4%)
- (3) 令和4年度年間時間外在校等時間360時間以上の教職員11名(26%)

※(2)、(3)の時間外在校等時間は週休日の部活動指導従事時間を除く)

#### 【定性的現状】

- (1) 課外授業や残務処理のため土日、休日に仕事をしている
- (2) 定時制が設置されているため、退庁時間が遅くなる傾向がある
- (3) 時間外勤務をしている教職員が固定化している
- (4) 仕事の効率化の視点を持って業務の見直しを行っている

### 2 目標・目指す姿

#### ＜令和5年度目標＞

○「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」に掲げる令和5年度の目標を達成するように取り組みます。

#### ＜目指す姿＞

- (1) 教職員一人ひとりが、専門性や経験を発揮し、健康で働きがいを感じながら業務に取り組んでいる
- (2) 教職員が、生徒と向き合い本来の教育活動に専念できる時間を十分に確保できている
- (3) 個人の時間や家族との生活が充実し、職務にも精励できる、ライフワークバランスがとれている
- (4) 管理職が、日頃から負担軽減のために業務について見直す姿勢を示し、勤務環境整備や業務改善に積極的に取り組んでいる
- (5) 働き方改革に係る課題や改善点を共有し、定期的に確認する場を設定する

### 3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

#### ○ 教職員の健康管理

- ・働き方改革プランの取組を確実に実施し、教職員の健康を確保します
- ・管理職が、業務バランスについて積極的に声掛けをします
- ・月の途中で月の時間外在校等時間が45時間超となりそうな教職員に、当該時間を伝え、健康確認を行う
- ・健康相談事業等、共済保健事業の活用を促進します
- ・学校閉庁日を積極的に休養日とします
- ・各種休暇の周知と休暇を取りやすい環境に努めます
- ・長時間勤務者の健康状態を確認し、管理職による積極的な声掛けを行います

#### ○ 学校における業務改善の推進

- ・働き方の取組状況を振り返る場を設定します
- ・学校通信等は、ホームページやメールでの配付・周知を行います
- ・会議の進め方についてT e a m sにより合理化を図ります
- ・I C T活用による会議資料のペーパーレス化、採点業務の効率化等による業務の効率化を進めます
- ・校務分掌人員配置の見直しと分掌内における業務の平準化に取り組めます
- ・部活動指導員や外部コーチを積極的に活用します
- ・複数顧問制による指導分担を推進します
- ・部活動休養日を計画的に設定します

#### ○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・P T A、同窓会等の業務について、適正化を図るよう協議を進めます
- ・働き方改革の取組について、保護者の方に理解いただけるよう周知します
- ・P T A行事の見直しや勤務時間内の開催を進めます
- ・同窓会業務を見直し、一部外部委託を進めます
- ・教職員の勤務時間を意識した働き方を進めます

令和5年5月9日 福岡高校 校長 佐々木伸良

### (参考)「岩手県教職員働き方改革プラン(2021～2023)」(抜粋)

#### 【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

#### 【プランの目標】

##### 目標1 県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。
 

・令和3年度実績	県立学校計	71名
・令和4年度実績(第3四半期まで)	県立学校計	21名

- (2) 時間外在校等時間(週休日の部活動指導従事時間を除く。)が月45時間超、年360時間超の者を下記のとおり縮減する。

時間外 在校等時間	取組期間
月45時間超	令和5(2023)年度
年360時間超	ゼロ

##### 目標2 業務への充実感や、健康面での安心感の向上

令和5年度において、アンケート調査に基づく肯定的実感が令和3年度の実施結果から向上することを目指す。